障がいのある人とその家族が
地域の中で尊厳を保ちながら
普通の暮らしが出来るよう支援する

NEWS

社会福祉法人
京都障害者福祉センター

9月号
No. 227 R4/9/1
編集：支援センター
発行：本部事務局
http://www.kyofc.or.jp

～新型コロナウイルス～第７波に最大限の警戒を～

8/22(月)～8/28(日)の市内の新規感染者数は、17,422 名で、１箇月前の 7/25(月)～7/31(日)の 21,682 名や１週間前の 8/15(月)～8/21(日)の 17,341 名比較してやや減少、微減となっておりますが、高止まり状態が継続しております。

現在の流行の主流は、過去の感染やワクチンによる免疫をかいくぐる能力が高いオミクロン株の派生型「BA・5」とされていますが、「BA・5」よりさらに感染スピードが速い新たな派生型「BA・2.75」が広がり始めており、専門家は、「早期に感染者数が減少する可能性は低い。」と分析しております。

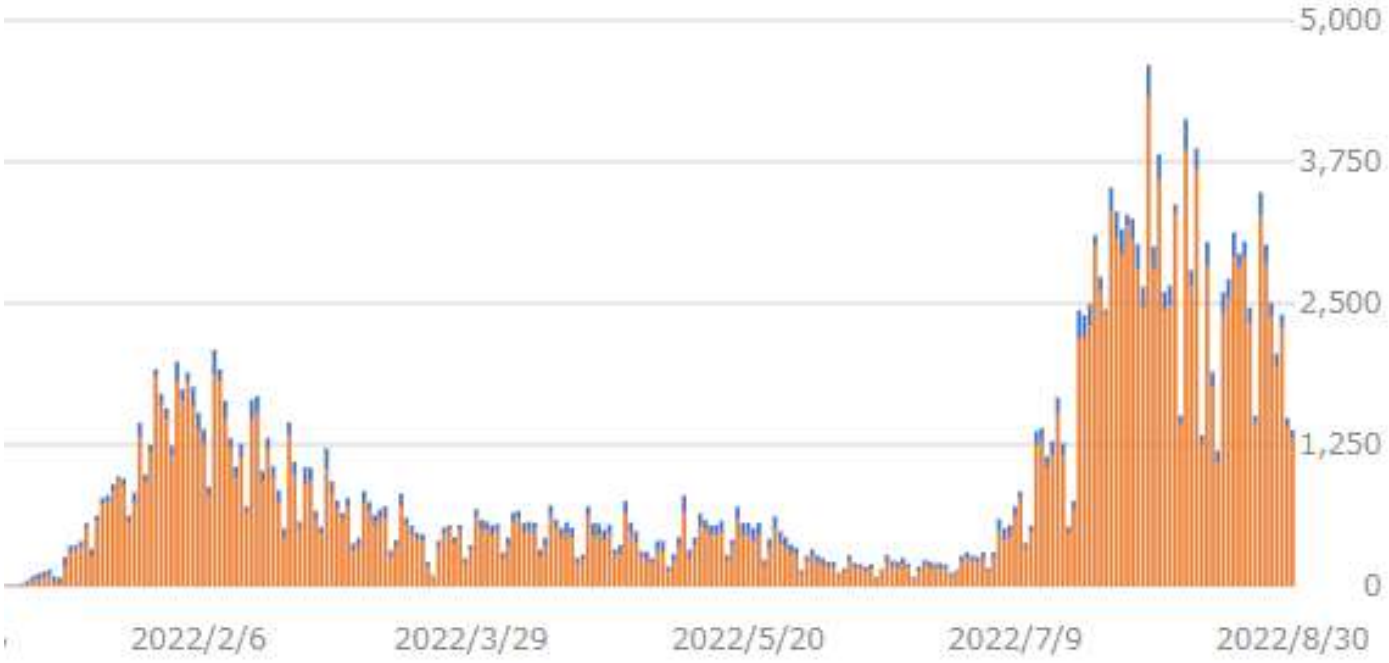
「京都ＢＡ.5 対策強化宣言」が９月末まで延長されるなど、引き続き第７波に最大限の警戒が必要です。

当法人の施設では、職員、職員の家族、利用者及び利用者の家族で、ＰＣＲ検査を受けられる事例が先月８月は 26 件（７月：30 件）で、累計で 280 件となりました。

内通所自粛をお願いした事例が３件あり、利用者さんやご家族に多大なご迷惑、ご心配をお掛けすることになりました。

職員の皆さんにおかれましては、引き続き、マスク、手洗い、距離確保、密の回避、こまめで十分な換気など、日々の感染対策、利用者、職員の健康状態の把握など基本的な対策の継続をお願いします。

京都市内の感染者数（日別）



（本部事務局）

洛南エリアTOPICS　【洛南障害者授産所】

笑うこと　チームワークの大切さ

最近笑っておられますか？
笑うツボは人それぞれ。年齢や育ってきた環境が違えば笑うツボは変わるもので・・・。
私はドリフターズで育ちました。裏番組はひょうきん族が放送されていましたが、我が家の土曜日は『8 時だよ！全員集合！！！』でした。翌週の学校ではドリフやひょうきん族のまねをして笑っていたような・・・懐かしくて、思い出すと心がほんのり温かくなります。

授産所（特に印刷班）では、野球の話で盛り上がることが多く、シーズンに突入すると日々勝敗や順位の話になり熱く盛り上がっています。応援しているチームが 4 球団に分かれているのでややこしいですが、野球の話をされている時の皆さんの表情が本当に楽しそうで、いつも以上に笑いが増えています。野球ファンではない方も話題につられて笑顔になられたり、声を出して笑われたり、笑いの輪が広がっていきます。

利用者さんの年齢は 20 代から 60 代と幅が広く、育ってこられた環境も全く違うメンバーが集まり日々仕事に取り組まれています。印刷班はパソコンと向き合っての仕事になり、孤独になりがちです。みんなで向かい合って作業をすることはありません。一見一人での作業だと思われがちですが、私は印刷班こそチームワークが大切だと思っています。作業は 1 人では完成しません。自分の役割をきっちりこなして次に繋げていかないとミスに繋がりますし、一人だけでは完成しないのが仕事です。陸上競技に例えればリレーです。日々向き合うのがパソコンだからこそみんなで楽しく笑いながら仕事に取り組むことができれば今よりもっとチームワークがよくなるのでは・・・と思います。

笑うことは健康にも繋がります。免疫力も上がり血流もよくなります。笑いは幸せを運んできてくれます。皆さんも笑いと笑顔で免疫力をあげてみませんか？

利用者さんと一緒に笑ってみませんか？
きっと幸せがやってくると思います。

（京都市洛南障害者授産所：仲山 祥代）

あたらしくデータ入力をはじめました

伏見授産ではパソコンを使った作業として名刺・封筒・機関紙の印刷やアンケート入力を行っています。近年、アンケート入力の作業も増えてきて作業量はあるのですが、入力する項目の多さや手書き文字の読み取りなどが難しいこともあり、限られた利用者さんで取り組んでいる現状です。

パソコンは使えるけどアンケート入力は難しい…もう少し簡単だったらできるのに…という利用者さんも多く、そんな方のための作業確保が課題でした。

そんなときに、京都障害者ＩＴサポートセンター様から入力の作業をしてみないかという話を頂きました。作業内容は個人情報を入力する作業で、納期もなく自分たちのやりたいときにやりたい分だけ入力の作業ができるというものでした。入力内容の難易度も自分たちで決めることが出来て、まさに探し求めていた作業でした。

専用のアプリをダウンロードし、インターネットを介して作業を行います。利用者さん１人ひとりにＩＤがあり、どれだけ入力したのか正答率がどれだけなのかもすべてわかります。
そのことが利用者の皆さんの正当な評価にもつながり、モチベーションの向上にも寄与してくれています。実際にこの８月から作業をスタートしています。関わって頂いている利用者さんは朝来られたらすぐにアプリを起動するのが日課になっていて集中して作業に携わってもらっています。これからパソコン作業をやってみたいという利用者さんの登竜門としても最適で利用者さんの幅広いニーズに合う可能性を秘めています。

現在はまだ作業量が十分でなく午前中だけで作業がなくなってしまう場合もあります。今後はどんどん作業量が増えていくと聞いているので利用者さんに満足していただけるように体制を十分に整えていきたいと思っています。

（伏見障害者授産所：北本　香里）

コロナ禍における施設での対応

　新型コロナウイルス第７派流行に伴い、コロナ陽性者の対応に追われた事業所も多いかと思います。共同ホーム「あんど」でも７月に新型コロナのクラスターが発生し、途中から「あんど」を一時休所する事態となりました。まさに非常事態でしたが、その時に「京都府感染症対策サポートチーム」（京都府健康福祉部：西浦氏、京大病院感染制御部：長尾氏、シミズ病院看護師：赤井氏）の来訪を依頼し、コロナ陽性者発生時のグループホームでの支援方法について様々な助言を頂くことができました。
　その時の助言を抜粋して情報共有致しますので、事業所や家庭内でのコロナ感染防止の参考にして頂ければと思います。

●感染予防は、まず自分の目や口などの粘膜部分を守ること。マスク、フェイスシールドをしっかかりとして、手洗いをしていない手で目などの粘膜部分を触らないようにすることで、コロナ感染の大半は防げる。また、マスクは普通の不織布マスクでの対応でＯＫ。

●陽性の利用者の食器について、食器を洗う際にはガウン、マスク、手袋、フェイスシールド等が必要。その為、使い捨ての紙皿等を使用し、食後は洗い物をせず捨ててしまうことで、飛沫の発生を防ぐ。

●洗濯については、普通の洗濯洗剤で洗濯しておけば、コロナウイルスは除去できるので、ハイターに漬け込む等はする必要ない。

●支援者の感染防止は、自分が触る可能性のある所について直前に拭き取るようにすればよい。例えばトイレを使用する前にドアノブ、便座、水栓レバー等、自分が触る可能性のある所の拭き取り、等。

●触ったところの掃除、消毒について、マジックリンや食器用洗剤などの界面活性剤の入った中性洗剤をキッチンペーパー等に含ませて拭き上げることで十分可能。
　・食器用洗剤を使用する場合、水 500ｍｌに洗剤小さじ１杯。
　・床掃除は日常の掃除程度で十分である。

●歯磨きは飛沫が飛散してリスクが高いので、待機期間中は時間短縮をして簡単に済ませてよい。シャワーや入浴も待機期間中は我慢して頂き、更衣等の合間に清拭で対応する。

●フロアの換気について、機械換気(扇風機等)を窓の外側に向けて置き、空気の流れを作れていれば良いため、窓は少しの隙間を開けて空気の通り道を作る程度で十分である。（エアコンが効かず熱中症になる方が問題。）

※上述した通り、感染予防は自分の粘膜を守る事が重要であるため、陽性者に関わる人、特に支援を行う私達は、まず自分の粘膜を守ることの徹底が重要です！

（生活サポートセンター『ほっと』：今村 朋里）

住まいについて　Part２

前回のニュースで大塚主任から住まいについての情報提供がありましたので、「らくとう」からも一部紹介させていただきます。
障害のある方の住居探しは、障害の程度や保証人の有無、金銭管理の課題等から容易ではありません。入所施設からの地域生活への移行を国が推進（障害者基本計画を参照）し、京都市でも『はぐくみ支え合うまち・京都ほほえみプラン』で令和５年度末までの地域生活移行者数の目標を掲げている中で、入所施設だけを選択肢とすることは現実的ではなく、グループホームやシェアハウス、賃貸住宅といくつかの選択肢の中から利用者さんの望む住まいを模索する作業を日々の業務で行っています。

賃貸住宅を仲介するある不動産会社から、らくとうに相談がありました。

不動産会社からの相談（ニーズ）
「実は不動産会社も空き物件の活用に困っているところがある。障害のある方の住まいを探す支援の方々は、貸してくれる住まいが少ないことに困りがある。それぞれのニーズを充足させるために、自分のところの空き部屋を活用できないかを考えている。」
↓
不動産会社・家主が障害のある方に貸しにくいと思う点　（あくまでも不動産会社一部の意見）
・障害がわからない。暴れるのか。隣の部屋の方に迷惑をかけないか。
・家賃を滞納しないか。
・支援者が定期的に訪問などしてくれていないと、何かあった場合の対応がすべて家主になる。
↓
「らくとう」のニーズ
「らくとう」の利用者さんで、数日間工事の為、自宅を離れる必要があり、経済的に余裕がないため、安価で数日過ごせる場所を探している方がたまたまいらっしゃいました。
↓
この不動産会社所有のアパート一部屋を借りる
・１泊の費用 3500 円（ワンルーム部屋代 3000 円＋光熱水費 500 円）。
・設備としてカーテン、照明、冷蔵庫、電子レンジ、給湯ポットを不動産会社が用意。
・利用後はご本人と支援者で掃除をする。
・入居、退出時には支援者が立ち会う。

✿１泊 3500 円は高いという見方もあると思いますが、家出して来られた人、急に１泊だけでも住む場所が必要な人、DV や虐待などから家に帰られない人のシェルター機能もあり、ニーズはあると考えられます。

このようにして、短期入所でも、グループホームでも福祉サービスではない地域の資源を利用した住まいの提供も、一つの選択肢となることをこの事例から学ぶことができました。また一人暮らしの体験目的の利用もできるなどの新たな可能性も見出せました。
今後については、用意していただいた部屋を必要な方に貸していきたいということと、ニーズが増えたら同じような部屋を増やすことも検討したいとのことです。
障害のある方の住まいについて、短期入所やグループホームといった福祉サービスの利用だけでなく、今回のように地域にある不動産会社の物件を活用できた＝地域の資源開発につながったことは、大きな進歩だと思っております。

このような情報については法人ニュースなどを通して法人の皆様へ積極的に情報提供させていただき、また皆様からの質問や詳細の情報を知りたいという問い合わせも、支援センターは受けていきますので、どしどしとご連絡いただけましたら嬉しいです。
（京都市東部障害者地域生活支援センター「らくとう」：山下　笑子）

2022年版

新型コロナウイルス

感染拡大防止へのご協力をお願いします

ワクチン接種後も、「マスクの着用」や「手洗い」、「3密（密接・密集・密閉）回避」などを徹底してください。

正しく使おうマスク！

❶鼻の形に合わせすき間をふさぐ　❷あご下まで伸ばし顔にすき間なくフィットさせる

ポイント

会話時は必ず着用！

- 鼻出しマスク× あごマスク×
- 着けたら外側は触らない
- ひもを持って着脱
- 品質の確かな、できれば不織布を

こまめにしよう手洗い・手指消毒！

こんなタイミングでは必ず！

- 共用物に触った後
- 食事の前後
- 公共交通機関の利用後 など

ポイント

指先・爪の間・指の間や手首も忘れずに洗いましょう！

目指そうゼロ密！

一つの密でも避けましょう！！

密接

マスクなし× 大声×

密集

大人数× 近距離×

密閉

換気が悪い× 狭い所×

▶ 体調不良時の出勤・登校・移動はお控えください。　▶ ワクチン未接種の方は接種をお願いします。

首相官邸 Prime Minister's Office of Japan　厚生労働省　内閣官房 新型コロナウイルス等感染症対策推進室

新型コロナウイルス感染予防のために▶（厚生労働省HP）